

2020年度 4期 アカデミックポテンシャル入試

番号		名前	模範解答
----	--	----	------

問1	A	ウ	B	イ	C	エ	D	ウ
----	---	---	---	---	---	---	---	---

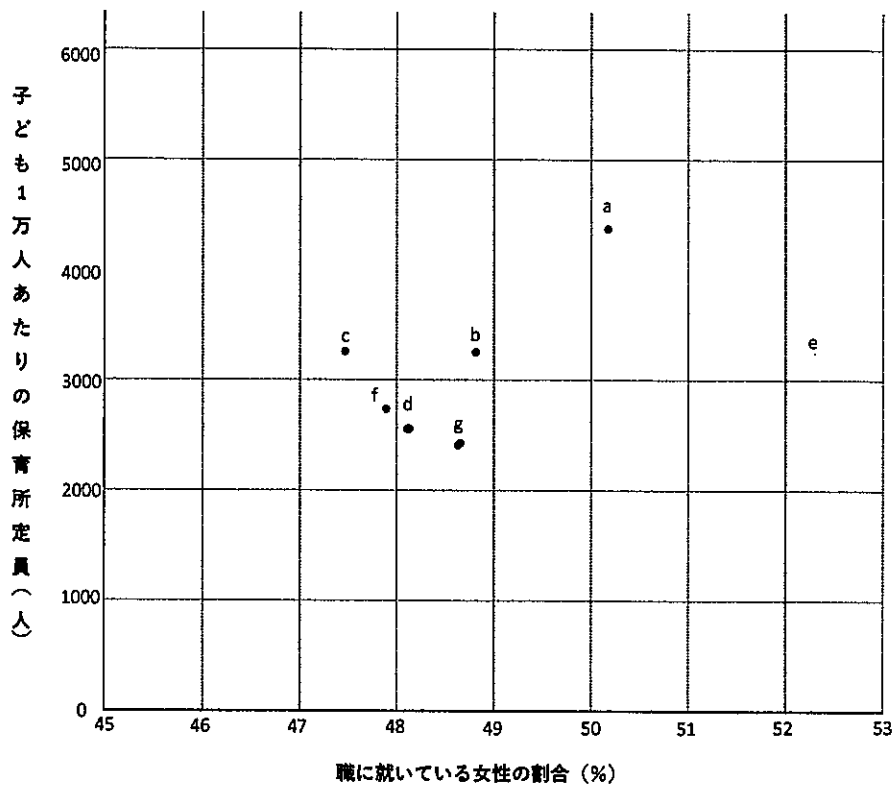
5点×4

問2	(1)	下記の表に記入しなさい	(2)	エ
----	-----	-------------	-----	---

1点×6

6点

	a群馬	b栃木	c茨城	d埼玉	e東京	f千葉	g神奈川
子ども1万人あたりの保育所定員(人)	4478	3216	3265	2558	3137	2701	2493
職に就いている女性の割合(%)	50.2	48.7	47.5	48.1	52.2	47.9	48.4



問3 30点	<p>3つの資料からそれぞれ要点を抜き出していること。7点×3</p> <p>⑦女性は結婚・出産後も仕事を続ける方がよいと考える人が増えてきた。</p> <p>⑦女性の大学進学率が上がり、社会で活躍しやすくなった。</p> <p>⑦女性を中心に育休制度が広まった。</p> <p>⑤文章の構成や表現力・わかりやすさ</p> <p>④誤字・脱字、文法上のミスがないか</p>
-----------	--

	使用した資料番号	例 2・6
問4 38点	<p style="text-align: center;">【採点基準】</p> <p>8点×2・・・資料から必要な情報を取り出せている。</p> <p>10点・・・複数の資料を関連付けて、意見を述べらている。</p> <p>6点・・・文章の構成・表現力、わかりやすさ</p> <p>6点・・・誤字・脱字、文法上のミスがないか</p> <p>女性の社会進出をより進めるために、日本人のジェンダー意識を変えていく必要がある。資料2をみると、結婚相手の条件として男性は経済力を求められ、女性は容姿を求められる。このような考えが、日本の女性が外で仕事をするを邪魔しているのではないか。こうした意識は資料6のように、漫画やドラマなどいろいろなところでジェンダーバイアスのあるものに触れていることで、知らず知らずのうちに作られていくので、こうしたバイアスに普段から気を付けておく必要がある。</p>	